

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 16 日 (2021.9.16)

【公開番号】特開 2019-34151 (P2019-34151A)

【公開日】平成 31 年 3 月 7 日 (2019.3.7)

【年通号数】公開・登録公報 2019-009

【出願番号】特願 2018-153751 (P2018-153751)

【国際特許分類】

A 6 1 M 37/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 37/00 5 3 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 6 日 (2021.8.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

唇のライトニング及び / 又は豊潤化を行う目的で唇に局所的に適用されるマイクロニードルアレイであって、マイクロニードルアレイは水溶性高分子を含み、マイクロニードルの高さは  $50\ \mu\text{m}$  から  $300\ \mu\text{m}$  である唇用マイクロニードルアレイ。

【請求項 2】

マイクロニードルの先端が直径  $5 \sim 150\ \mu\text{m}$  の円形又はそれと同面積を有する平面である請求項 1 に記載の唇用マイクロニードルアレイ。

【請求項 3】

マイクロニードルの密度は  $50 \sim 2000\ \text{本}/\text{cm}^2$  である請求項 1 又は 2 に記載の唇用マイクロニードルアレイ。

【請求項 4】

マイクロニードルの基板部の厚みは  $3 \sim 200\ \mu\text{m}$  である請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の唇用マイクロニードルアレイ。

【請求項 5】

水溶性高分子がヒアルロン酸又はその誘導体である請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の唇用マイクロニードルアレイ。

【請求項 6】

マイクロニードルアレイが保護粘着テープで裏打ちされており、該粘着テープの基材は水透過性であり、且つ粘着剤が部分塗工されている請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の唇用マイクロニードルアレイ。

【請求項 7】

ライトニング成分、保湿成分、抗炎症成分の 1 種以上をマイクロニードル部に含有する請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の唇用マイクロニードルアレイ。

【請求項 8】

さらに顔料又は合成着色料を含む、請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の唇用マイクロニードルアレイ。

【請求項 9】

1 シートに 2 枚マイクロニードルアレイを保持し、上下唇に同時に適用する請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の唇用マイクロニードルアレイ。

**【請求項 10】**

請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の唇用マイクロニードルアレイの製造方法であって、下記工程を含む製造方法：

マイクロニードルの形状が穿設された型に、水溶性高分子及び必要に応じて有価物を含有する水溶液を流延し、乾燥させる工程、

乾燥後のマイクロニードルアレイを剥離する工程、及び

剥離後のマイクロニードルアレイを唇に適用できる形状に裁断する工程。

**【請求項 11】**

前記唇に適用できる形状に裁断されたマイクロニードルアレイを保護粘着テープで裏打ちする工程をさらに含む、請求項 10 に記載の製造方法。

**【請求項 12】**

請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の唇用マイクロニードルアレイを口唇部に押し付けて適用する工程を含む、唇の美容方法（医療行為を除く）。

**【請求項 13】**

前記適用工程後に、口唇部に適用された唇用マイクロニードルアレイに水分を供給して溶解させる工程を含む、請求項 12 に記載の美容方法（医療行為を除く）。

—